

## 執筆者紹介

堀江 洋文 本研究所所員

## 〈編集後記〉

月報 11 月号は、堀江所員の『キリスト教原理主義とアメリカ政治』であったが、門外漢の私にはやや難易度の高い試験問題を読まされる感があった。しかし、キリスト教原理主義とブッシュ政権の功罪については、少なからず興味を持ったところでした。私の乏しい認識では、基本的に経済的保守・社会的保守を掲げる支持層を拡大しようとする共和党と経済的リベラル・社会的リベラルというリベラル層を拡大しようとする民主党との歴史的なアメリカの対立構図を考えると、父ブッシュの右寄りの政策を重視しすぎたため敗退し、息子ブッシュの打ち出したスローガンが「思いやりのある保守」であったはずである。結果として、ブッシュ政権はキリスト教原理主義の勢力に近寄りしすぎないようスタンスを明確にしたのではなかったのか。特に、ブッシュの中東での民主主義促進外交を考えると、期待したような成果を上げられなかったという点は、妙に納得した。

(k・m)

---

神奈川県川崎市多摩区東三田 2 丁目 1 番 1 号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

(発行者) 町田俊彦

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前 2-10-2 電話 (03)3404-2561

---